

第 1 章 調査概要

第1章 調査概要

1. 調査目的

本県における青少年の生活実態や価値観等を把握し、青少年に関する総合的施策樹立のための基礎資料を得るとともに、調査結果を広く県民に紹介し、青少年健全育成に対する理解と協力を得るために実施する。

2. 調査設計

(1) 調査地域 埼玉県全域

- (2) 調査対象
- ①令和3年4月1日現在で、満10歳から満14歳までの県内在住の男女 2,000人
 - ②令和3年4月1日現在で、満15歳から満30歳までの県内在住の男女 2,000人
 - ③令和3年4月1日現在で、満31歳から満39歳までの県内在住の男女 2,000人
 - ④調査対象①から③の保護者等 6,000人

(3) 標本抽出方法

住民基本台帳を用いた層化二段無作為抽出法

調査地点の抽出は、埼玉県内を10地域に区分し、各地域における人口（埼玉県発行「埼玉県町（丁）字別人口調査結果報告」に基づく令和3年1月1日現在の推定数）により、100地点を比例配分した。

地域	市町村	総人口(人)	配分地点数(抽出人数)
南 部	川口市、蕨市、戸田市	824,155	11 (220人)
南 西 部	朝霞市、志木市、和光市、新座市、富士見市、ふじみ野市、三芳町	734,924	10 (200人)
東 部	春日部市、草加市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町	1,166,554	16 (320人)
さいたま	さいたま市	1,324,589	18 (360人)
県 央	鴻巣市、上尾市、桶川市、北本市、伊奈町	533,695	7 (140人)
川越比企	川越市、東松山市、坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町、越生町、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、ときがわ町、東秩父村	790,561	11 (220人)
西 部	所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市	775,625	10 (200人)
利 根	行田市、加須市、羽生市、久喜市、蓮田市、幸手市、宮代町、白岡市、杉戸町	642,415	9 (180人)
北 部	熊谷市、本庄市、深谷市、美里町、神川町、上里町、寄居町	504,354	7 (140人)
秩 父	秩父市、横瀬町、皆野町、長瀨町、小鹿野町	96,908	1 (20人)
	計	7,393,780	100 (2,000人)

(4) 調査方法 郵送配布、郵送回収・インターネット回収

(5) 調査期間 令和3年7月30日(金)～8月25日(水)

(6) 実施機関 株式会社タイム・エージェント

3. 回収状況等

①令和3年4月1日現在で、満10歳から満14歳までの県内在住の男女 2,000人

発送数 (A)	回収数 (B)	回収率 (C) = B/A
2,000 件	789 件	39.5%

②令和3年4月1日現在で、満15歳から満30歳までの県内在住の男女 2,000人

発送数 (A)	回収数 (B)	回収率 (C) = B/A
2,000 件	480 件	24.0%

③令和3年4月1日現在で、満31歳から満39歳までの県内在住の男女 2,000人

発送数 (A)	回収数 (B)	回収率 (C) = B/A
2,000 件	560 件	28.0%

④調査対象①から③の保護者等 6,000人

発送数 (A)	回収数 (B)	回収率 (C) = B/A
6,000 件	1,504 件※	25.1%

※調査対象②及び③の本人かつ保護者等である回答を含む

4. 報告書の見方

- ①調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示している。したがって、合計が100%にならない場合がある。
- ②複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常100%を超える。
- ③図表中の「n」とは、その設問への回答者数を表す。
- ④選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いている。
- ⑤クロス集計の分析軸となる項目に「無回答」がある場合、これを表示していない。よって「全体」の数値と各項目の和が一致しない場合がある。また、分析軸となる項目の回答者数が少ない場合、グラフ化していない場合がある。
- ⑥回答者数の少ない属性などについてはコメントを控えている。